



地域学校協働活動だより

令和6年10月30日発行 福島県教育庁県北教育事務所

国見学園コミュニティ・スクール委員会

訪問日：令和6年8月28日（水）

場 所：国見町立県北中学校

内 容：①事業報告

②熟議「10年後の国見町を考える」



国見町では、藤田保育所、くにみ幼稚園、国見小学校、県北中学校を「国見学園」としてコミュニティ・スクールを基盤とした幼保小中一貫教育を行っています。

地域や保護者の方々に学校運営へ参画していただく仕組みであるコミュニティ・スクールは、地域に開かれ地域に信頼される学校づくりに社会総がかりで取り組むことをめざしています。

まちの将来を一緒に考える・・・学びによるまちづくり

国見学園コミュニティ・スクール委員会では、中学生の意見を取り入れるとともに、中学生が国見町の将来について考える機会にしてほしいという思いから、県北中学校2年生と熟議を行いました。県北中学校2年生とコミュニティ・スクール委員、事務局員が集まり、8つのグループに分かれて熟議が行われました。話合いの中で、中学生は柔軟な発想で様々な考えを発表したり、地域の方は地域の実情などを話したりしていました。



【自分の考えを付箋紙に書きました】



【シートに貼ってまとめました】



グループの意見は
国見町のホームページに
掲載されています。



【発表を聞いて全体で共有しました】

～参加者の感想～

＜中学生と地域の人が熟議を行うと・・・！！＞

（生徒）

- ・ 10年後を想像したことはなかったです。自分たちに何ができるかをみんなで考えることができました。
- ・ 自分たちから地域の活動に参加することが大切だということがわかりました。
- ・ 10年後の国見町を想像しながら、地域の方と楽しく話し合えました。

（コミュニティ・スクール委員）

- ・ 中学生は具体的に、中学生の視点で考えていました。
- ・ これから、出てきたアイデアを実行に移すことが課題です。

（町職員）

- ・ 中学生の考えを直接聞けるよい機会でした。
- ・ 大人だとあきらめてしまうようなことを中学生の柔軟な発想で率直に考えていました。

○児童生徒にとって

地域の方々との関わりから、地域への理解や関心の深まりが期待されます。

○地域にとって

児童生徒と地域住民及び住民同士の交流の機会が増えます。

○学校・教職員にとって

地域の方々の多様な視点を生かし充実した教育活動の展開が期待されます。